

## JABLAS会 2014年度 総会号

JABLAS会総会7月21日

JABLAS体制/2014年度活動報告/2015年度活動など ㊦-2

▶ 井口 新一

特別講演 ㊦-20

国立研究開発法人理化学研究所 社会知創成事業イノベーション推進センター

▶ 中村特別研究室 中村 振一郎 博士

会社訪問 日本消防検定協会(後編) ㊦-39

▶ 志柿 芳江 & 青木 洋子

第13回試験所見学会 株式会社ブリヂストン ㊦-44

情報) 試験所賠償責任保険の推奨 ㊦-51

▶ 東洋紡不動産株式会社 東京支店 宮田賢司

JABLAS Activities

5月～7月実施公開セミナー ㊦-52

新セミナー/研究会の紹介 ㊦-54

公開セミナー/研究会など開催予定表 ㊦-57





## JABLAS会 2014年度 総会アジェンダ

2015年7月21日(火) 13:30 JAB 会議室

- 13:30 前会長 前代表理事 退任の挨拶 井須 雄一郎
- 13:40 新会長 新代表理事 新任の挨拶 井口 新一
- 13:50 講演者紹介 監事 宮川 雅明
- 14:00 独立行政法人理化学研究所 中村特別研究室 中村 振一郎 博士  
テーマ:光合成、細胞の音、日本の技術戦略など
- 15:30 試験所認定の現状と将来  
公益財団法人日本適合性認定協会(JAB) 副センター長 植松 慶生様
- 15:45 活動状況 会長兼代表理事 井口 新一
1. 2014年度活動状況報告
  2. 2015年度主要活動  
新役員体制
  3. 主要活動計画
  4. 創業10周年を目指し
  5. 質疑
- 16:30頃 懇親会



# 新役員体制



前会長 前代表理事 井須 雄一郎



新会長 新代表理事  
井口 新一



常務理事  
鳶田 武



(本日欠席)  
理事  
望月 康平



監事  
宮川 雅明

理事  
関 顕



JABLAS会総会

# JABLAS会 2014年度総会

2015年7月21日(火)

JABLAS会 会長

井口 新一

JABLAS



## 話 題

1. JABLAS体制 (2015年4月24日付け)
2. 2014年度活動状況報告
3. 2015年度活動
4. 創業10周年を目指して



## 1. JABLAS体制 (2015年4月24日付け)

### 役員と担当分野

代表理事 井口 新一 : 経営・事業全般、グローバル展開、規格関連活動担当

常務理事 島田 武 : 経営管理、事業企画・運営及びコミュニケーション担当

理 事 望月 康平 : 化学、食品分野/領域事業担当

理 事 関 顕 : 医学、医療、臨床検査分野/領域事業担当

監 事 宮川 雅明 : 戦略、マーケティング、リスク・マネジメント等担当

顧 問 井須 雄一郎 (前 JABLAS代表理事、前 JABLAS会会長)

事務局長 志柿 芳江 (事務局活動全般 統括)

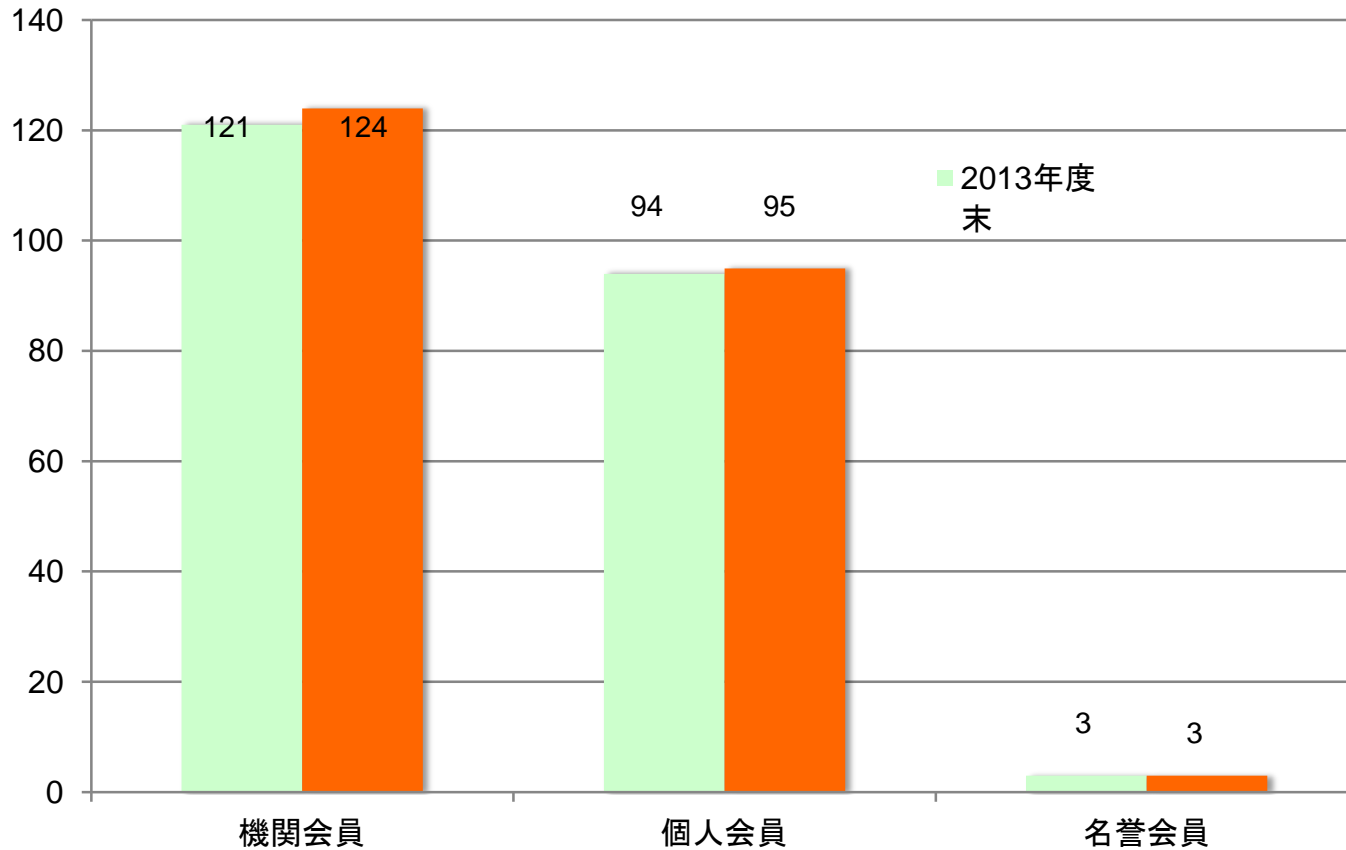
事務局員 3名

- JABLAS会事務局:JABLAS会 会員規約 第3章20条に従い、従来同様上記JABLAS事務局で対応いたします。



## 2. 2014年度活動状況報告

### (1) JABLAS会 会員数

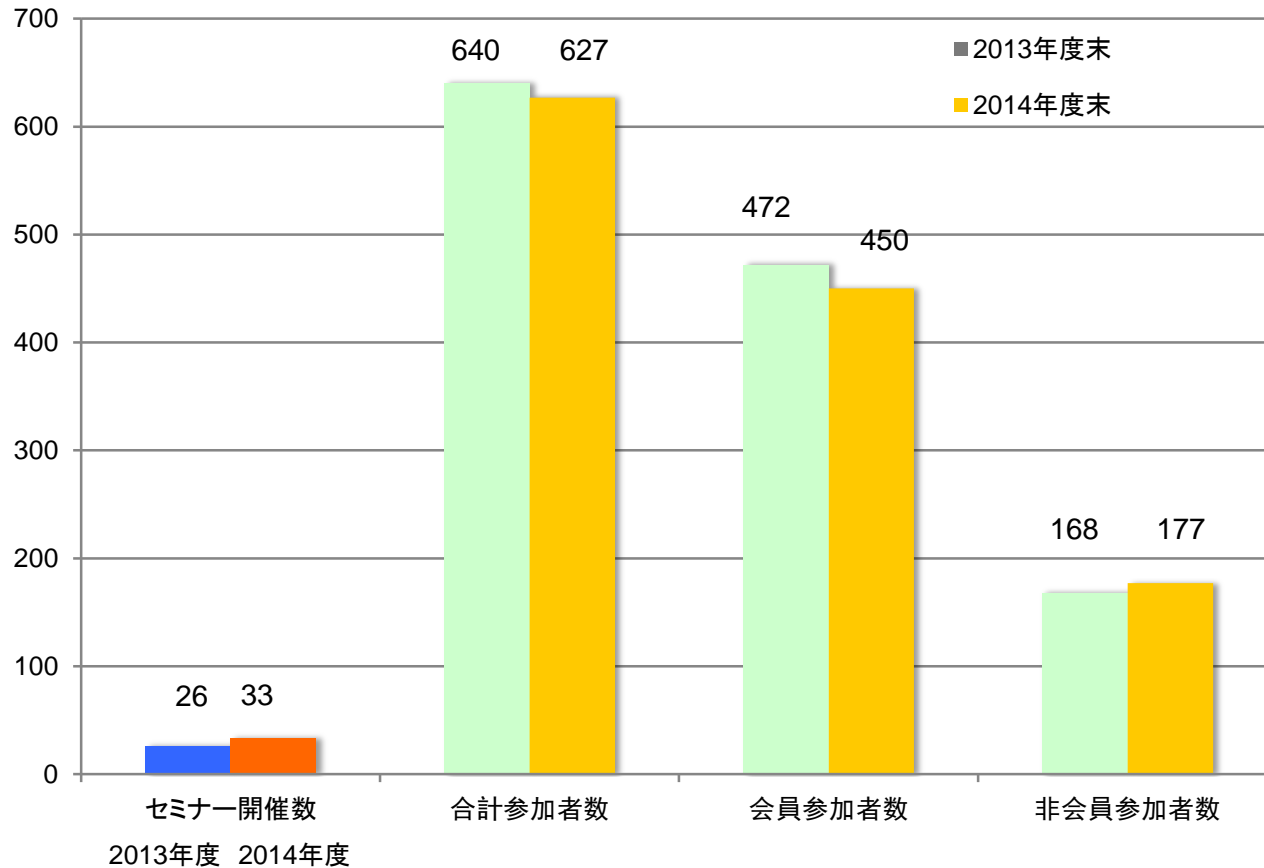


機関会員 +3及び個人会員 +1で共に増加(対2013年度)。



## 2. 2014年度活動状況報告

### (2) セミナー開催数と参加者数



参加者数の増減(対2013年度): JAB認定審査員の参加数が26名減

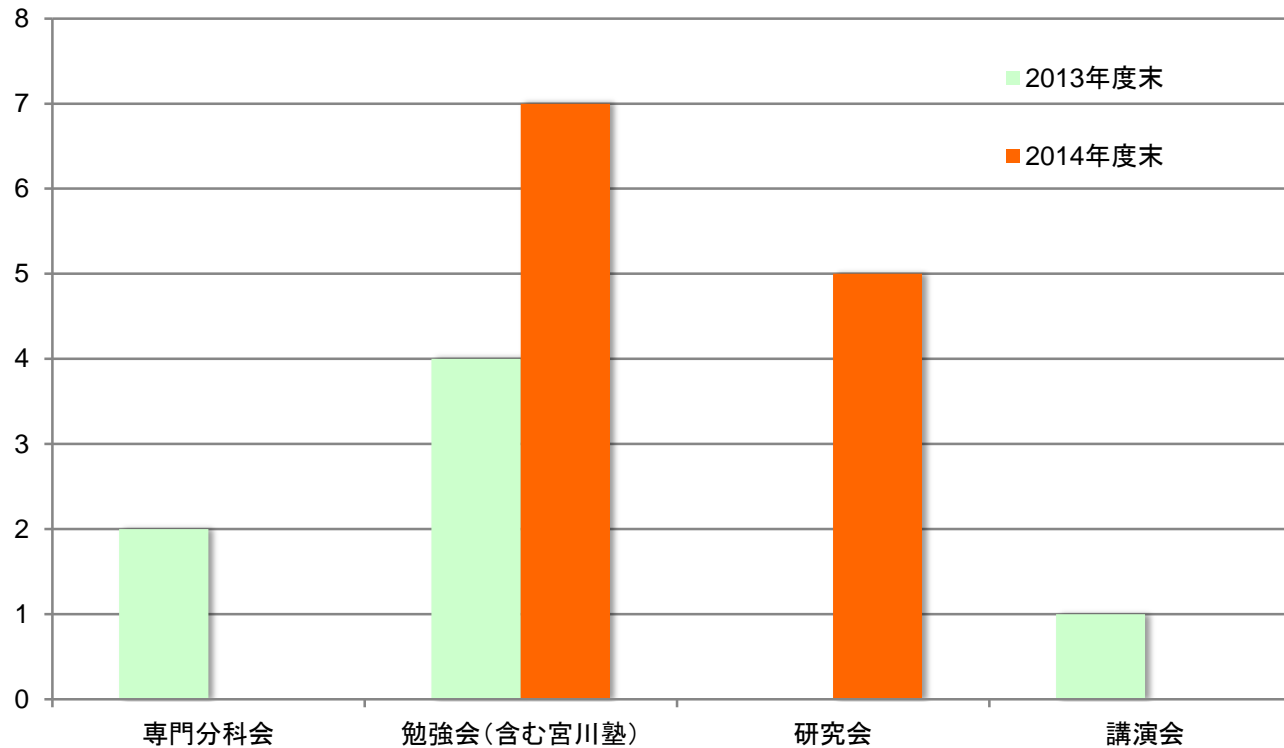
会員の参加者数、非会員の参加者数共に増加





## 2. 2014年度活動状況報告

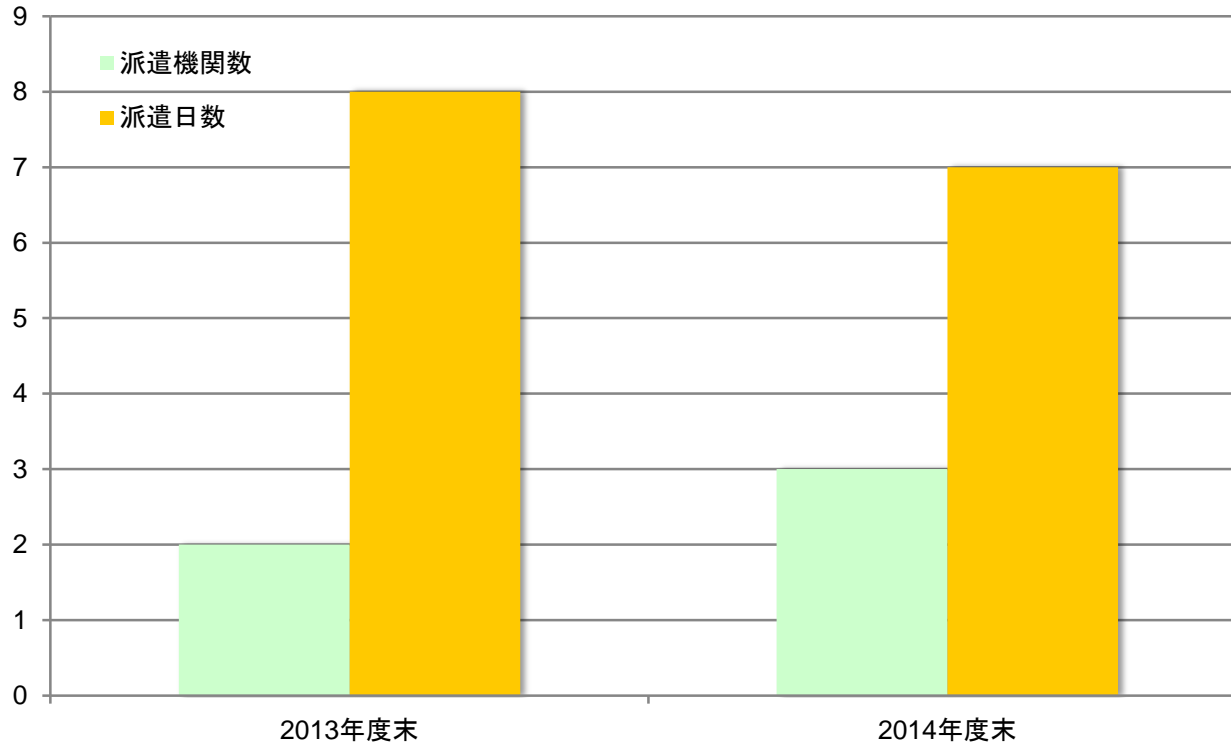
### (3) 専門部会、勉強会、研究会活動



2014年度から専門部会を発展的解消し、勉強会や研究会に力点をおいた活動を展開しました。



### (4) 活動支援のための講師派遣



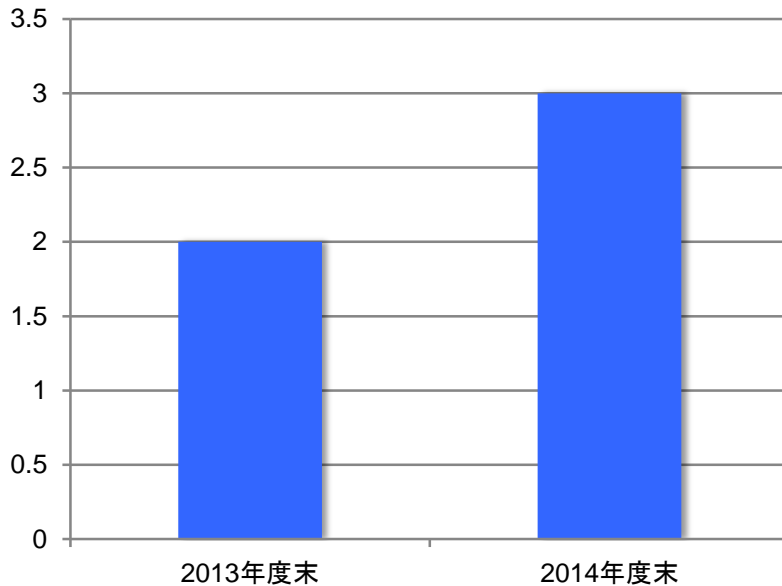
2014年度からは、認定取得目的だけでなく、認定取得をより活用するマーケティングの観点からの支援が始まりました。



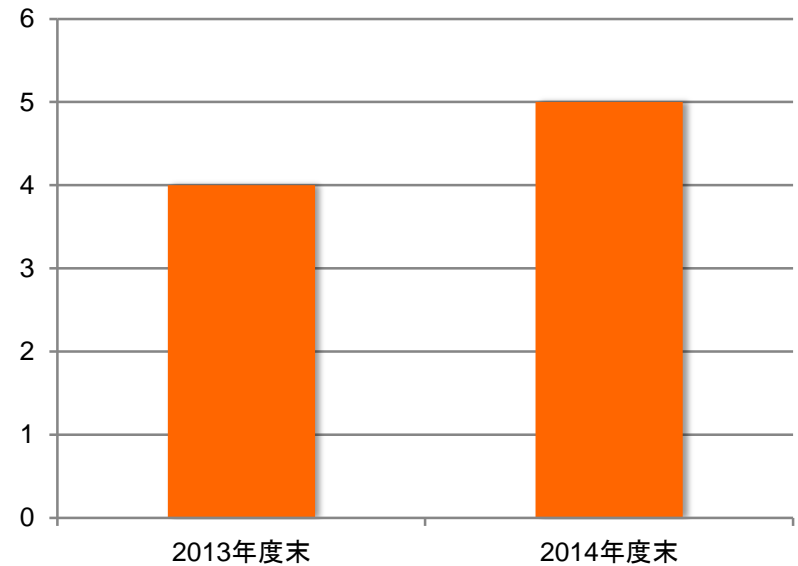
## 2. 2014年度活動状況報告

### (5) 異業種交流としての見学会及び情報誌としてのJABLAS NEWS発行

#### 見学会回数



#### 発行回数



見学会は、生物科学安全研究所様、東京都立産業技術研究センター様及び塩事業センター様で実施させていただき、いずれも好評でした。

情報共有の手段として、JABLAS NEWSの発行回数の増加を試みましたが、2013年度と比較して1回の増加に留まりました。



### 3. 2015年度活動

#### ■ 活動の基本方針

JABとの連携を維持・強化し、試験所認定制度普及及び認定試験所の活動支援を拡充する。

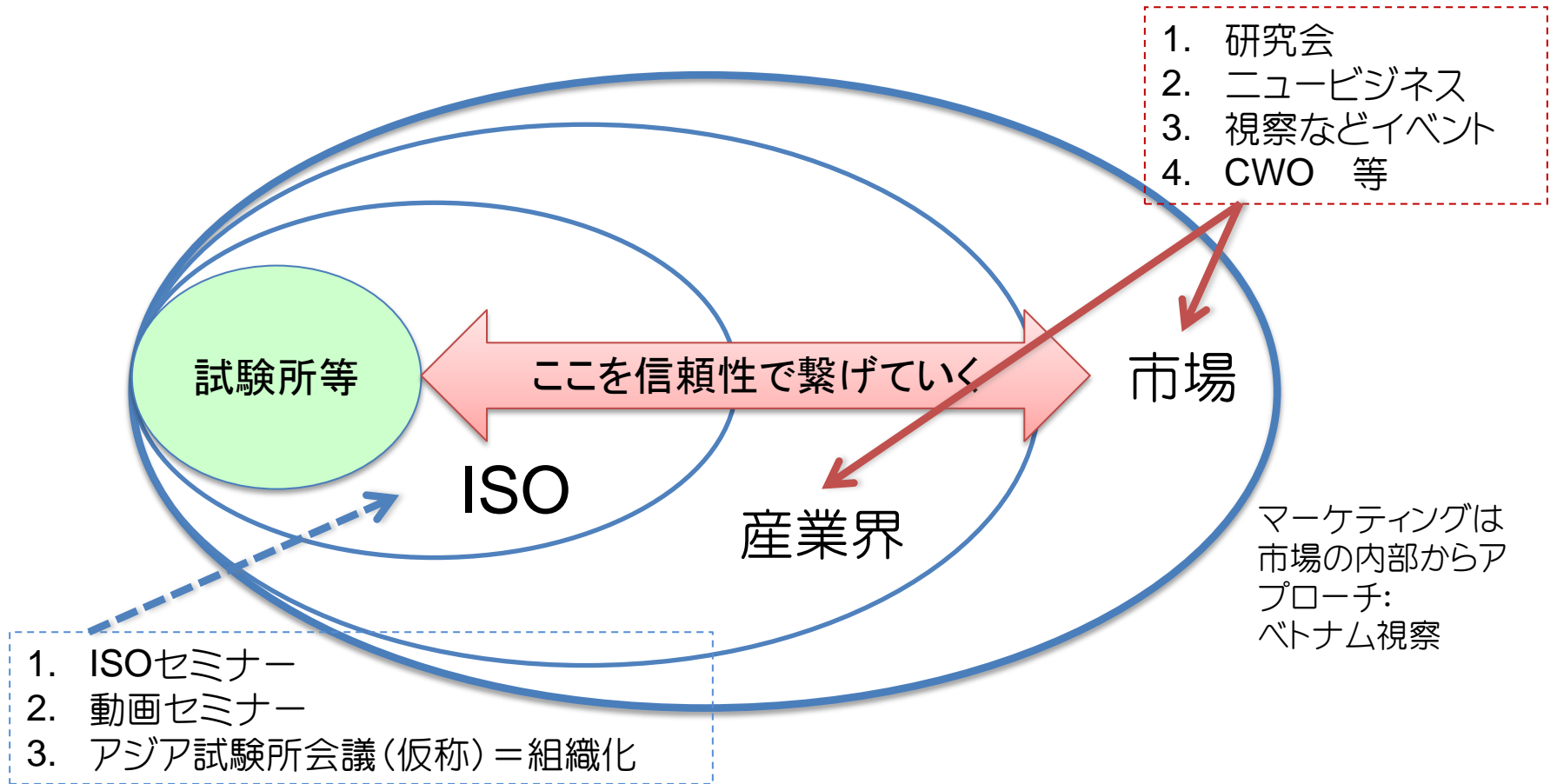
#### □ 活動項目

- ◆ 会員の認定取得、認定維持、認定活用を支援する公開セミナーの開催(37セミナーを企画。対2014年度で4セミナーの増)
- ◆ 規格等知識の拡充のための勉強会(2件)、マーケティングの視点から認定活用を支援する研究会(11件。)
- ◆ 異業種交流のための見学会(2件:ブリヂストン様(5月)、日本消防検定協会様(9月)、更に2件程度の追加を検討)
- ◆ 試験所等の認定取得及び認定取得を活用するマーケティングの視点からの支援強化
- ◆ ISO/IEC 17025改正国内対応WGに参加 (受身の規格から、主体的参画の規格へ)
- ◆ 第2回ベトナム視察の計画立案
- ◆ 国際会議 アジア試験所会議(仮称)の開催準備 (アジアの認定試験所等間での情報交換、現在の課題と対応策、将来の試験所の方向性議論などを期待)



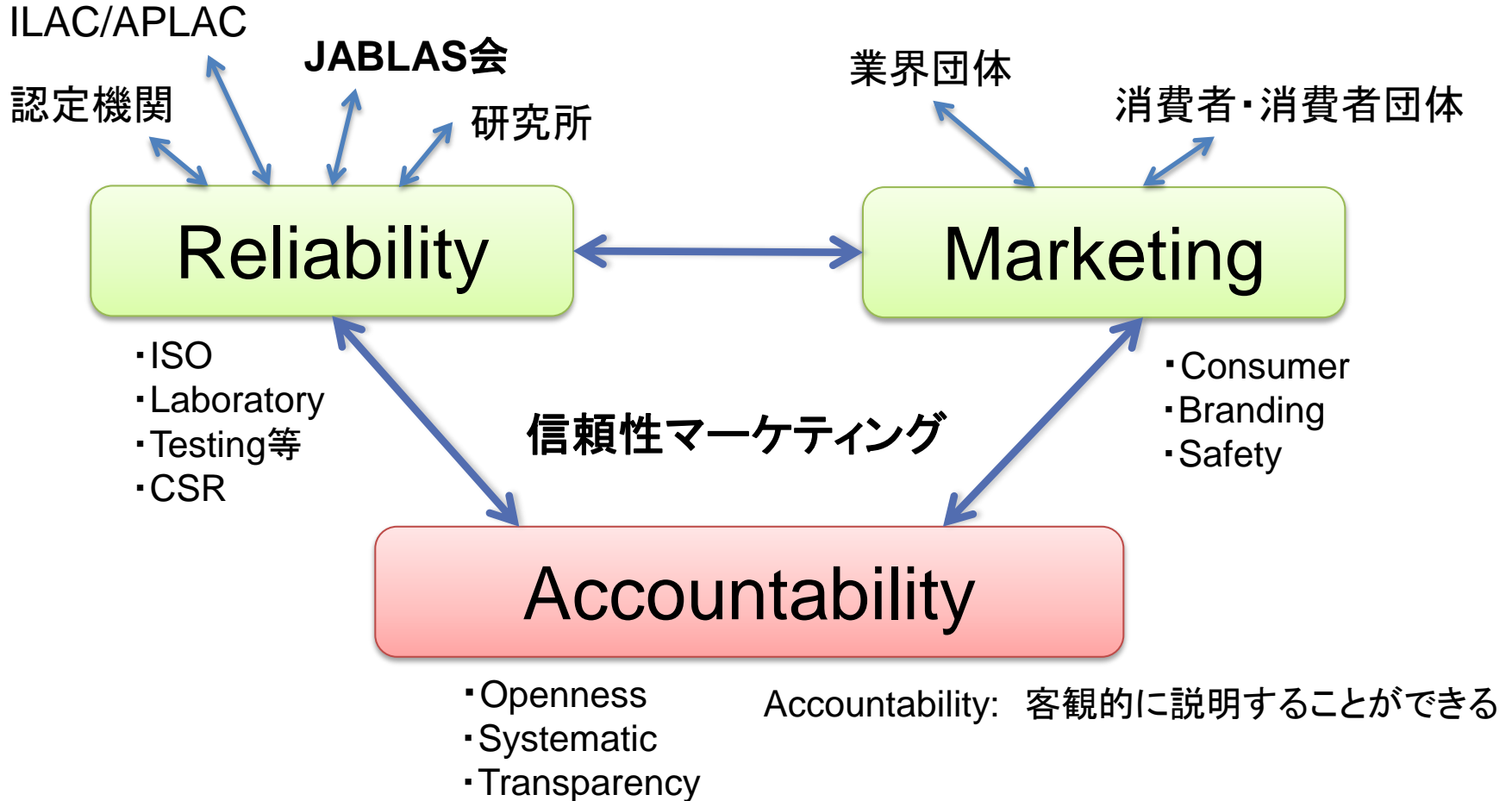
### ■ 「信頼性マーケティング」

客観的な信頼を強みとして、持続的差別的優位性と市場性 (Marketability~市場へ投入した時の市場からの受け入れ度合い) を確立すること。





# 【JABLASの活動領域】



試験所の認定取得: 直接収益拡大につなげるためのものであるよりも、より多く  
Accountabilityを確実にするために貢献。



### 3. 2015年度活動

#### □ 法人名の再検討

現法人名「一般社団法人 JAB試験所協議会」は、現在本協議会が標榜している「信頼性マーケティング」の方向と合致しているだろうか。

#### □ 新法人名

##### ❖ 検討の背景

- ◆ 数年来JABLAS事務局内で検討
- ◆ 2013年4月1日の法人化から2年経過し、任意団体から法人化への諸業務の移行はほぼ完了
- ◆ 2019年には創業10周年を迎えるが、このときまでに法人としてのビジョン、使命を明確にし諸活動体制を構築しておくべき

##### ❖ 新法人名決定の工程(予定)

- ◆ 2015年7月23日:JABLAS社員総会で法人名変更に関する最終議論
- ◆ 2015年7月23日:法務局へ法人名変更申請(社員総会で法人名の変更が承認された場合)
- ◆ 2015年9月1日:新法人名の公開日

□ 新法人名候補

一般社団法人 RMA (アールエムエー)

□ 新法人ロゴ(案)

❖ ウェブページデザイン(案)



一般社団法人 R M A  
旧)(一社) JABLAS

❖ 一般ロゴデザイン(案)



一般社団法人 R M A  
信頼性マーケティングを推進する



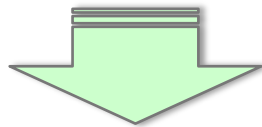
RMA General Incorporated Association





### 3. 2015年度活動

- 法人名変更に伴うJABLAS会の位置付け
  - JABLAS会は、信頼性(Reliability)領域の重要な核となる要素
  - JABLAS創業の起点
  - JABとの協力関係維持・強化の要



JABLAS会の名称、JABLAS会の下での諸活動はそのまま継続いたします。

但し、法人名変更に伴い、JABLAS会 会員規約の文言の修正が必要。

事務局で現行会員規約を修正し、会員各位のご承認を受けることといたします。



## 4. 創業10周年を目指して

### □ おかげさまで、JABLASは2019年4月に創業10周年を迎えます。

- 2009年4月1日 創業
- 2013年4月1日 一般社団法人として法人化

### □ 創業10周年を目指しての方針

- 私どもとJABLAS会が一丸となり、社会・市場へISO認定による信頼性を発信する機会とする。

### ■ 10周年に向けての実施予定事項

1. 信頼性マーケティングの普及イベント
  - ・ 法人名変更と併せて、普及・啓発シンポジウムの開催(10月1日を予定)
  - ・ 会員各位の活動事例の収集
2. 市場調査・アンケートの実施
3. 法人名変更に伴う会員アンケートの実施
4. ICT研究会、勉強会との充実



JABLAS会総会

## 7月23日 社員総会にて新社名承認

7月23日、社員総会にて新社名を、一般社団法人 R M A（呼称アールエムエー）  
とすることで承認されましたことをご報告させていただきます。



JABLAS会総会

## 特別講演

国立研究開発法人理化学研究所 社会知創成事業イノベーション推進センター

中村特別研究室 中村 振一郎 博士



ご講演内容は多岐にわたっております。スライドを抜粋する形で紹介をさせていただきます。多少見にくい箇所もありますが、ご容赦ください。



- 1 自己紹介
- 2 自分の背骨たる技術：  
応用数理 産業界における計算科学
- 3 具体的な研究例  
途中で「休憩脇道コラム」4-5つ
  - 3-1 分子光メモリー
  - 3-2 天然光合成
  - 3-3 部品よりもシステムへ  
(エネルギー・日本がまた元気になる起爆剤)
  - 3-4 医療よりも予防へ  
(日本に必ず来る老齡未来はチャンス！)





世界で現在  
130億枚 !  
(三菱化学メディア社調べ)

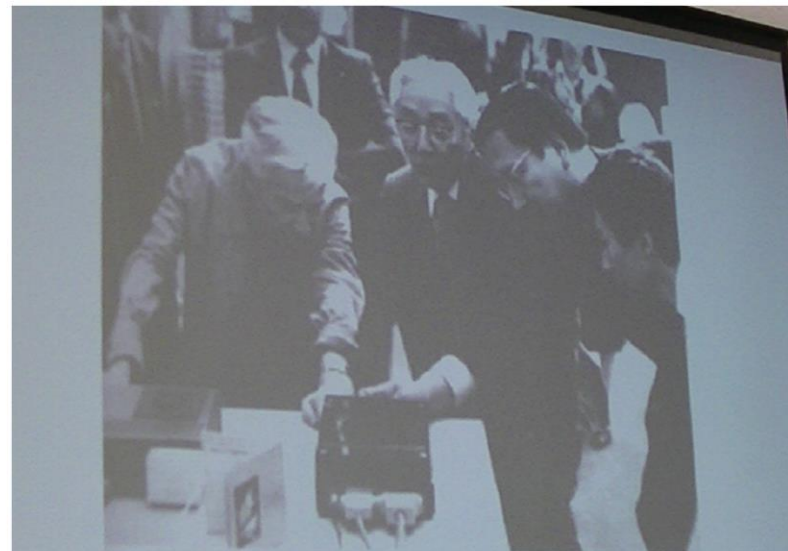
「秘伝のタレ! ?」 汝の正体は有機色素!

光ディスクの工業的背景: 機能性色素の応用展開

1990~  
Market in → CD-R, DVD

誰からも強制されない各社の枠を超えた連帯と切磋琢磨 !!  
(SONY、太陽誘電、TDK、パイオニア、三菱化学、.....)

(浜田恵美子さん+中島平太郎さんの語りより)

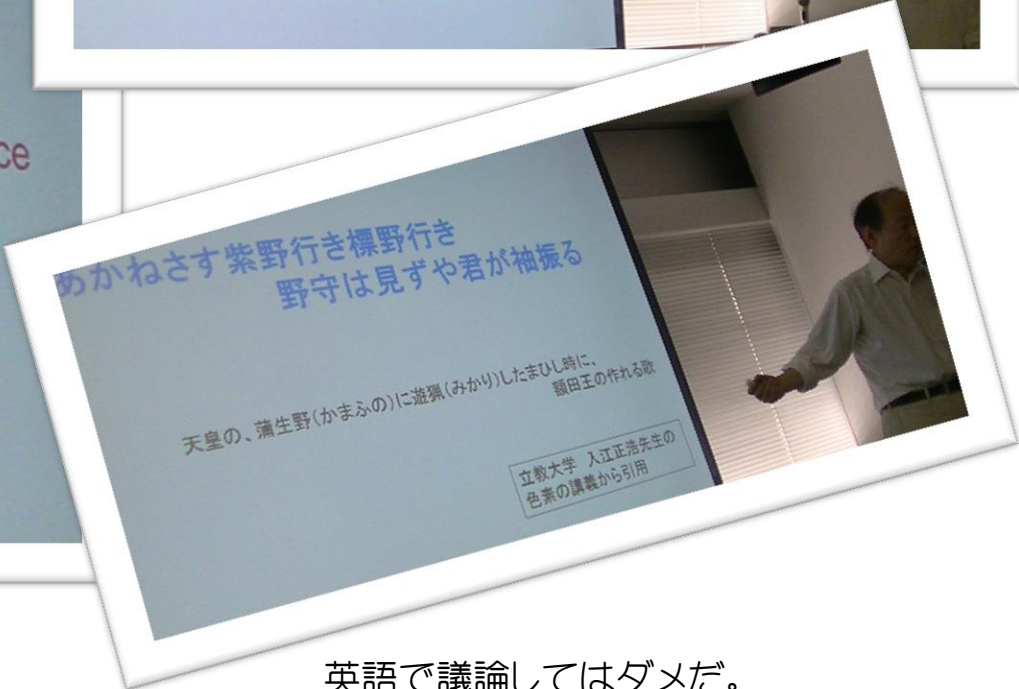
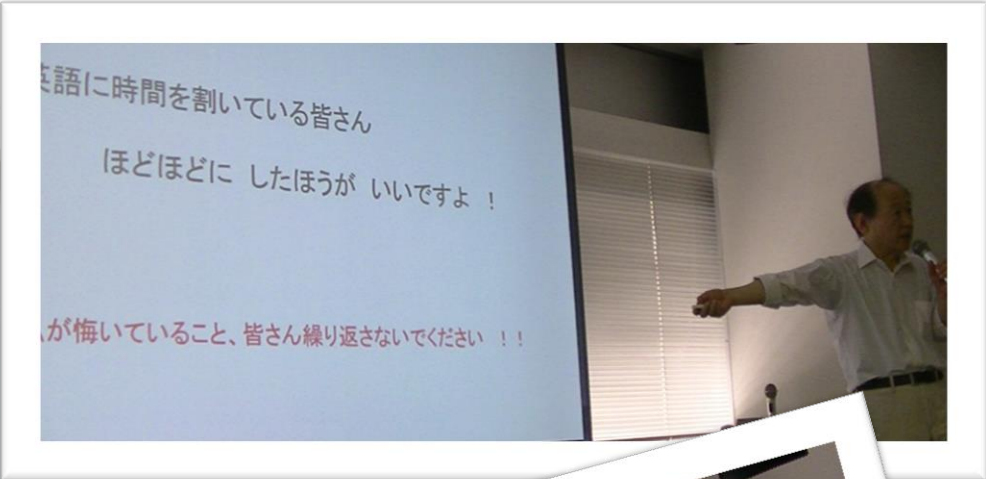


カラヤンにCDを説明する森田昭夫

A. Morita (SONY President) Explains CD-R to H.v.Karajan.



Now, QY can be designed!  
 学問的に高度に至るもRD中止!!  
 Molecular Memory has no longer chance  
 in the world market!!!!  
 Patent expired and  
 Flash memory appeared!



英語で議論してはダメだ。  
 流暢な英語よりコンテンツ。  
 国際会議は日本語で話す。

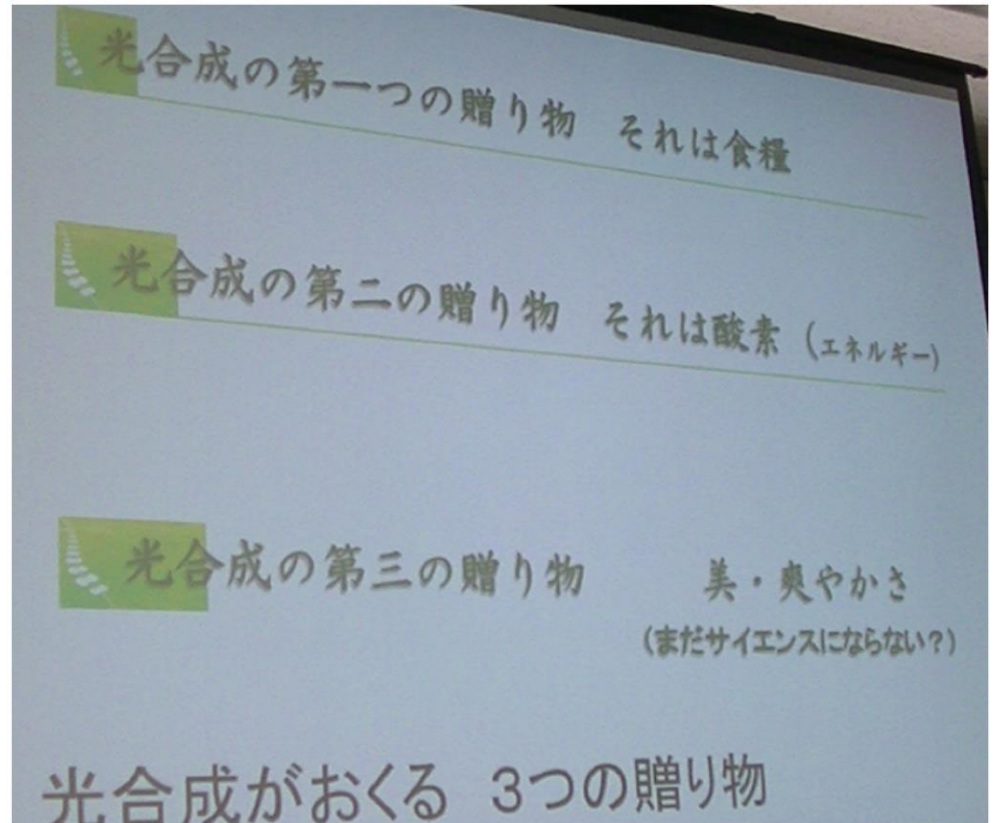


JABLAS会総会

中村 振一郎 博士



光合成に関しては、この雑誌の存在を知っただけでも価値がある。

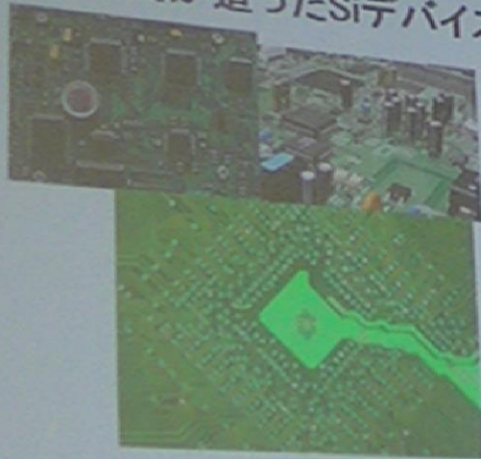




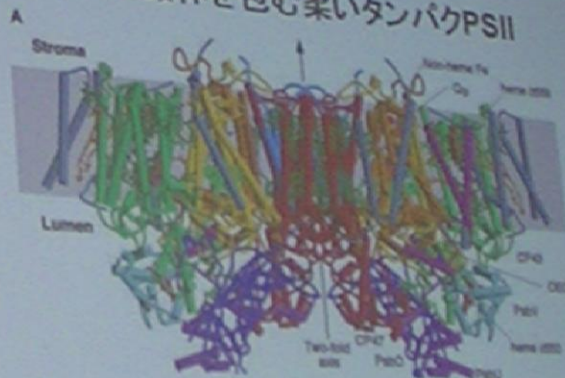


光合成の凄さは人間が作ったものと  
違う原理「ゆらぎ」で動いていること??

人間が造ったSiデバイス



Mn錯体を包む柔いタンパクPSII



効率: 精度、廃熱、外乱との戦いでvs  
~50%は稀

~100%

ノイズ: 徹底的に除かねば誤動作 vs  
(純度)

曖昧さ、ゆらぎ、遍在

あそび!! あってこそ機能する

光合成は  
食料(デンプン)とエネルギー(酸素)を  
人類が全く理解できていない  
やりかたで 淡々と黙々と  
造っている!!!

の解明をめざして

「 計算科学 \* 光電気化学 ! 」

によるアプローチ (理研の研究 Snap Shot !)

中村 振一郎 博士





# 光合成研究の背景 歴史観、時代のパラダイムシフト

(R.Descartes から R.Thom そして I.Prigogine)

## 決定論的世界観

デジタル中央集権  
ノイマン型コンピュータ

⇒

## 非決定論的世界観

ニューラルネットワーク  
人間の脳 1/fゆらぎ  
フラクタル・カオス

## ニュートン力学

弾道計算  
構造力学

→

## 量子力学

Siテクノロジー  
電子の時代

→

## 複雑系科学

散逸構造  
自己組織化  
個別医療

機械的な原理 から

生体を活かしている原理へ



中村 振一郎 博士







曇りや雨、夜でも  
太陽電池の電気を使うためには？

↓  
電気を貯めることができれば良い！

電気は電気の形で貯蔵することは難しいので  
化学エネルギーの形で貯蔵するのが一般的

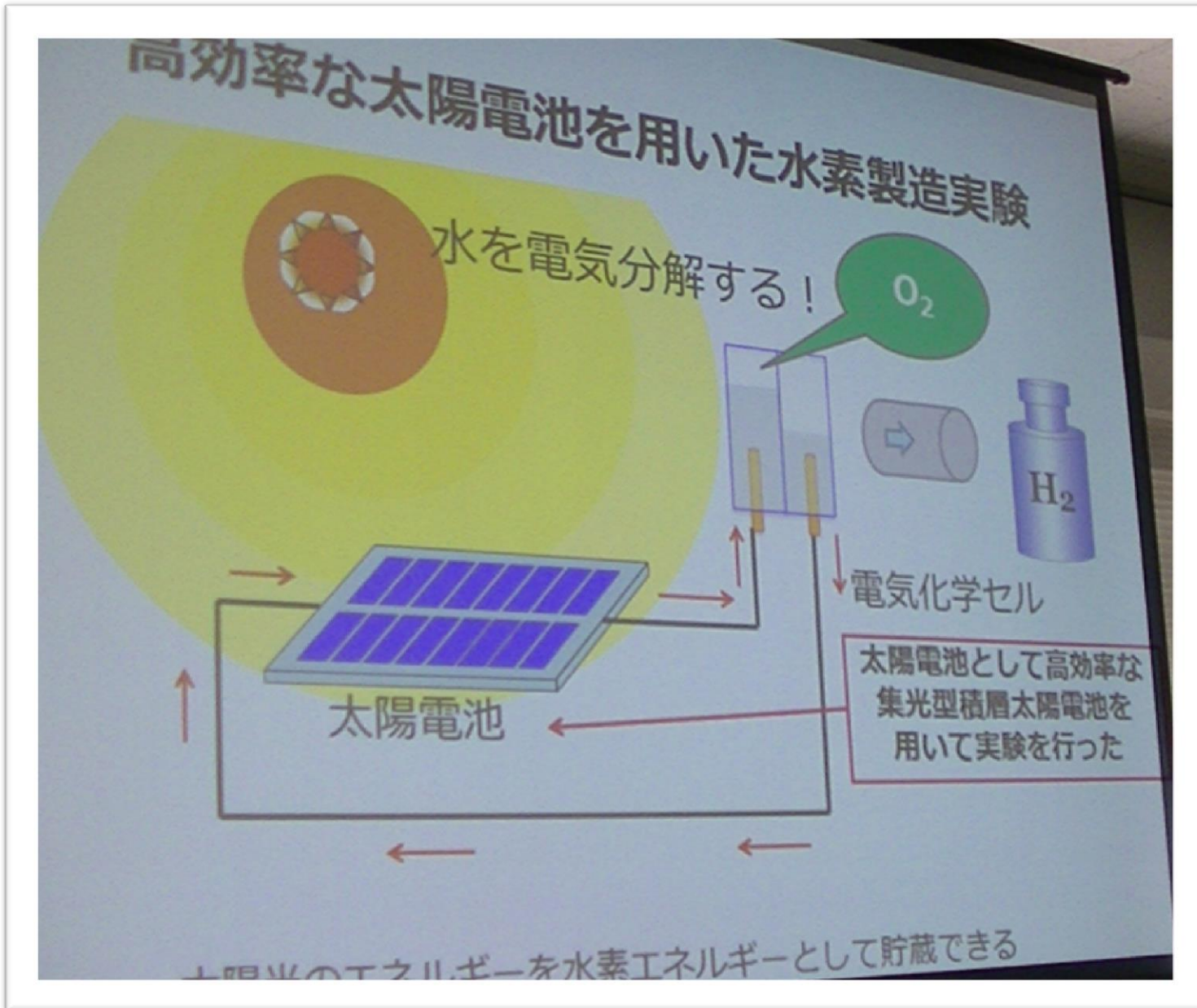
↓  
繰り返し使うことができる電池を使う

水素の形で貯蔵する

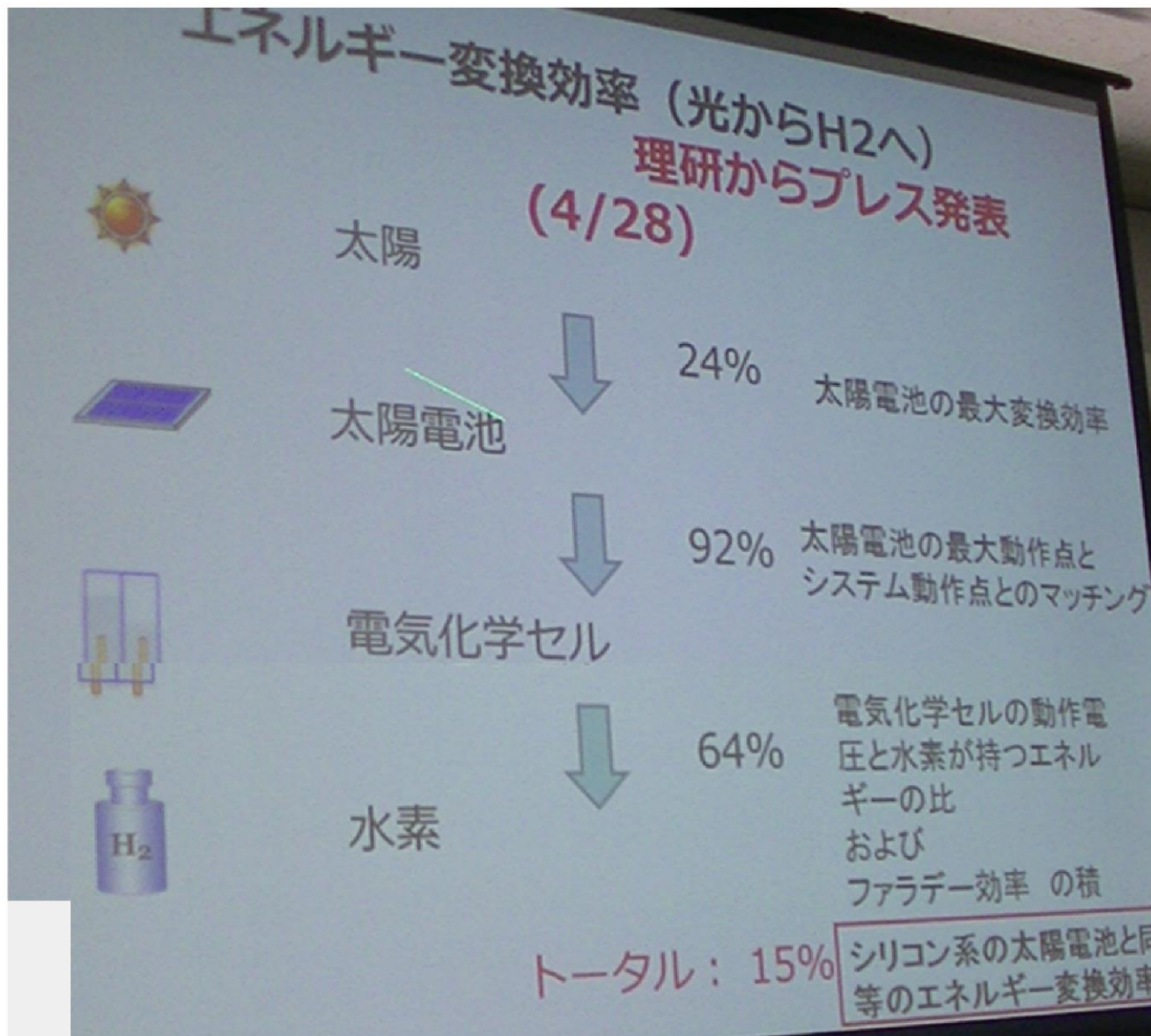


太陽光を水素に変換する

自立可能な  
再生可能エネルギーシステムを  
目指して









### 可視化 (Visualization)

見た目がすべて  
現代人は見かけに  
過度に依存?

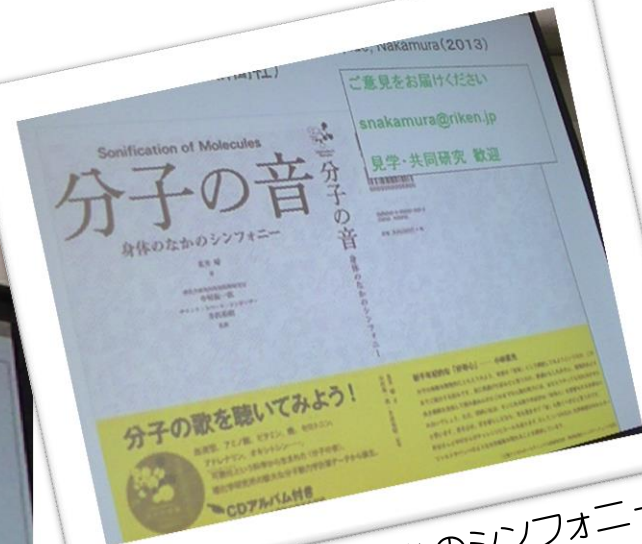
人は見ようとしたもの  
しか見えない!??



### 可聴化 (Sonification)

みかけに惑わされず  
じっと聴く

代表例 ガイガーカウンター  
カクテルパーティ効果!!??



分子の音 身体の中のシンフォニー  
(毎日新聞社)

たったの3,000円!!

血液型、アミノ酸、ビタミン、糖、セロトニン、アドレナリン、オキシトシン…。可聴化という科学から生まれた“分子の音”。理化学研究所の膨大な分子動力学計算データから誕生。





21世紀後半の大きな未踏分野は  
Man/Machineインターフェイス  
視覚偏重から全覚(まず聴覚)へ

この革命的变化がおこれば 人の持つ可能性が飛躍的に増大する。

3Dプリンター、BigData,,,これらも「時空の制約からの解放」を示唆  
音標識の普及→盲者も運転可能な社会へ

今後の社会(とくに先進国)では、  
必需品(=物欲を満たす欲求)は飽和に向かう、  
生活の質QOLの追及(=生きる意味への欲求)のため  
の「物と事」は確実に増える。



## ソノグラムを日本の規格に!!!

1. 東京オリンピック  
1964 ピクトグラムは日本から世界へ  
2020 ソノグラムも日本から世界へ
2. 可視化(みえる化)と可聴化(ひびく化)  
分子の音は諸言語と文化の違いを超えて普遍的
3. 日本こそが音の国  
「かそけき音」は万葉集の時代から

## 何をするのか「目標」

日本発「音のピクトグラム(ソノグラム)」を  
オリンピック・パラリンピックで世界に発信する。  
(波及効果として日本発の新しい産業の芽を生み出す。)

- 1 30~50の代表的ニーズを厳選し、ソノグラムを作る。
- 2 分子の音(世界共通の音)をベースに、音のDefactStandardにする。
- 3 日常生活であらゆるところに、活用される、  
音によって、「成熟社会のインフラ」を創成する。  
ソフト産業、運輸交通産業、医療福祉産業が生まれる。





デジタル先進国における要諦は規格である(中村のドグマ!)

応用数理学会誌 巻頭言から 要約(2011年3月号)

数理の活躍舞台は変わるとも

応用数理学会フェロー  
中村 振一郎

遙か昔1980年代、筆者は仏政府給費留学生としてかの国に滞在しました。

過去J.フーリエや近年のR.トムら蒼々たる天才、、Wavelet方法論  
が躍進途上、数理の老舗のような国でした。

そのころ 日本の電気、計算機そして自動車産業が欧米先達を追い抜き  
日本の数理教育の優秀さが盛んに喧伝されていました。

それから瞬く間に時代が移り、欧州マスコミの目はアジアの隣人へと  
シフトしています

いかなる産業も四半世紀の間には栄枯盛衰

産業も生き物である証でしょう。

そこで昨今の欧米巨大電気産業が向かっている地平に目をむけてみました。

端的な一例に語らせましょう。

〇社、G社そしてS社を始めとする先頭集団(3社とも10兆円以上)の  
ヘルスケア・オープンイノベーションが具現している何かです。

つまり広義の生命科学に向かって電気産業の重心の  
全部ではないにしろ重要な部分が移行しつつあります。



先端医療やバイオテクノロジーに限らず、  
わが国の広義の生命科学の裾野は、  
醸造技術の素晴らしさ、  
健康を支える和食の妙、  
日本酒の多様さ（フランスワインの多様さにけして引けをとりません）、  
世界に先駆けて存在した有機農法、  
古武術の体の運用などなど、...、  
世界に誇りうるものの数は枚挙に暇が無いほど豊かです。  
日本の文化と歴史のポテンシャルを体現し、  
独自のゲームのルール構築に挑戦する所存です。

活力ある長寿先進国  
それを現実にするための  
基礎インフラ提案

中村 振一郎  
2015年5月 欧州にて





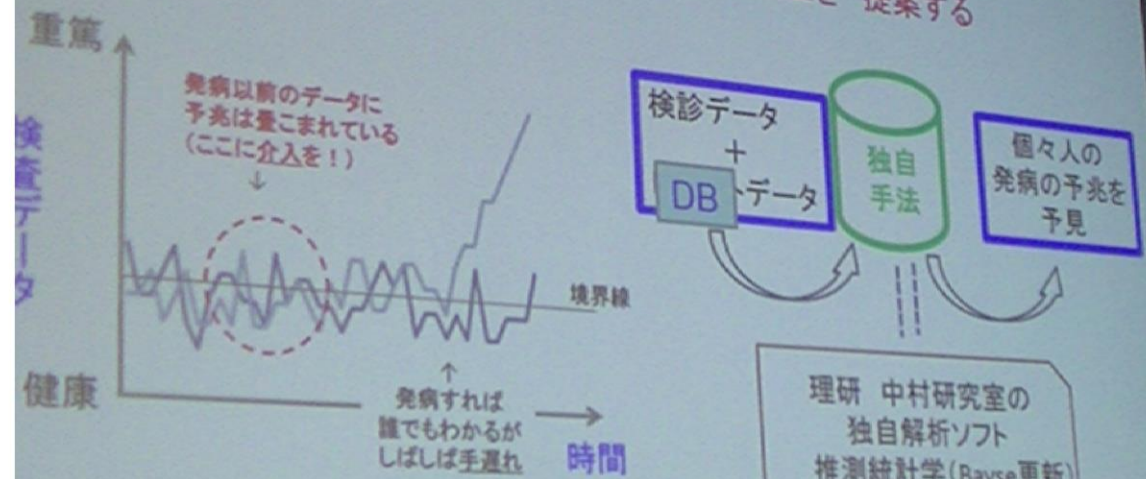
### インフラを構成する3要素

- 1 健康設計・予防医療のための具体的  
プロダクト(最後は製品化されるもの)
- 2 通信・コミュニケーション
- 3 精神性・芸術性・長寿者ならではの知性  
(哲学としての宗教)

### 特徴的なデータ解析

適用予定のソフトツール  
(権利化申請中)

病気になる前の個人に、レベル(深刻さ・重篤さ)を数値評価して  
限られた 医療・介護を 適用すべき 優先順位を 提案する



※ 日本の統計数理研究所によって  
培われた強い基盤に立脚(AIC)



理研で新たに企画中です  
民間の方参加歓迎！

老人が自立できるように社会のしくみ  
(介護に頼らない、自立する！)

具体的にそれに資する商品をデザインする

たとえば「話相手ロボット」、

「歌でボケは治る？ 脳科学」

新たな規格(ゲームのルール)は日本から！！



2015/5/3

理化学研究所は2015年4月28日、太陽光を水素として貯蔵する安価で簡便なシステムを構築し、エネルギー変換効率15.3%を達成したと発表した。理研・社会知創成事業イノベーション推進センター中村特別研究室の中村振一郎特別招聘研究員と藤井克司客員研究員(東京大学特任教授)らの研究チームによる成果である。

同研究チームは、再生可能エネルギーで発電した電力を利用し、電気化学的な手法を用いて水素を得て、それを貯蔵するシステムの開発に取り組んだ。植物は葉の中でアンテナ機構という精妙なナノ構造を用いて光合成を行い、炭水化物を貯蔵する。研究チームは、こうした光合成の機構を応用し、のこぎり状の断面構造を持つ「フレネルレンズ」を用いて集光するタンデム(多接合)型太陽電池を電源とする水分解電気化学セルで水素を発生させ、貯蔵することに成功した。

この太陽電池を直列に接続することで、水を電気分解できる電圧まで高めるとともに、最もエネルギーロスが少ない接続方法を検討した結果、太陽光から水素への変換効率を15.3%まで高めることに成功したという。

(日経新聞、日経テクノロジーオンラインより抜粋 執筆者日経BPグリーンテック研究所 金子憲治)





<http://www.riken.jp/~media/riken/pr/publications/news/2014/rn201402.pdf>



中村振一郎 博士の「光合成の仕組みを分子動力学と量子化学で解き明かす」が上記サイトからダウンロードできます。

国を愛しそして憂い、本質を貫く研究者の魂を垣間見たご講演。  
大変好評でした。  
ありがとうございました。

訪問日:2014年12月8日

訪問者:一般社団法人JAB試験所協議会

志柿 芳江 & 青木 洋子

さてここから、ここにお勤めする4人の女性のお話です。皆さん型式試験、型式適合検定等を担当している設備課ですが、検定の品目によって、それぞれの設備課に属しています。



～出張が多いです。～

ここにお勤めしている女性はおよそ10名ほどです。これくらいの人数であれば、皆さんよく知り合った仲であるのかと思いがちですが、実は、何ヶ月も顔を合わせないことがあります。消防機器の工場での検査(型式適合検定)のため、業務により差がありますが、「ほぼ毎日出張です。」といった方もいるくらい出張が多い職場です。日帰りもあれば、何泊かすることも、日本全国、海外までも出かけて行きます。

～それなら名物、名所のお話し～

そんなに全国各地を巡っているのなら、さぞかし各地の名所、うまいものも熟知しているのかと聞いてみると、皆さん首を傾げるばかり。あくまでも仕事、ついでに観光なんてありません。それでも、行った先で有名な物を食べたり、行きつけの店があったり、駅のスイーツコーナーで必ず買い求めるお気に入りがあったりとか、そんな方たちもいますよ。と教えてくれました。

～旅の達人です。～

出張の手続きはもちろん全て自分でやります。慣れない時には色々な失敗がありました。例えば、違うホームで電車を待っていて、乗るべき電車に乗れないなんて事もありました。そのため初めの頃は、時間に余裕をもって30分前には到着するよう心がけました。

様々な経験を重ねて、新幹線や飛行機の乗り方はかなりうまくなりました。どこの車両に乗れば乗り換えに便利だとか、駅構内の売店やトイレの場所もバッチリです。

また仕事の書類がたくさんあるために、自分の荷物はコンパクトです。余計な物は持って行きませんが、除菌ウェットティッシュは必需品です。海外出張の時は、これがとても役立ちましたが、日本国内でも、手が洗えない場面等で結構使います。

また冬場には、荷物になるけれど、ズボンを持っていきます。浴衣だけでは下がスースーして寒いからです。

もちろん家の布団が一番ですが、ホテルのパリッとしたシーツも結構好きです。



～仕事は体力勝負?!～

検定の品目によって違いますが、体力を使う仕事も多いです。繰返し作動試験では、消火栓のホースを引っ張っては巻き戻しの繰り返し。金属製避難はしごであれば、伸ばしては巻き取りの繰り返し。結合金具であれば、はめて外しての繰り返し。ひとつの試験で何日にも亘るものもあります。さらに広い場所が必要な消防ポンプ自動車の試験などでは、外での作業なので当然のごとく冬は寒く、夏は暑いです。

～ストレス解消法～

「冬場は、1シーズンで何度もスキーに行きます。」「とにかく家でのんびり休みます。」「たくさん寝たいので睡眠時間の確保が大切です。」「大好きなバンドのライブで、声を張り上げて叫んでいます。」「子育て中なので、たまに子供を預けて友達とワイワイ飲みに行きます。」など、皆さんそれぞれです。ライブで絶叫のお話の時には、別の方から「あら！ そうなの？」なんて声も上がりました。

～子育てママに優しい職場～

育休が明けて、子供が3歳になるまでは、時間短縮勤務が可能です。規定は以前からありましたが、協会内で適用を受けたのは、今回が初めてです。

～最後に、日本消防検定協会をPR～

消防用機器等の大切さと日本消防検定協会を知ってもらうために、年に一回、毎年4月に一般公開の日があります。この日は、情報館を見学出来たり、色々な試験を見たり、体験出来たりします。お子さん連れで、是非お越し下さい。

また、日常の中で機会があれば、是非一度検定マークを確認してみてください。



取材を終えて、改めて、検定の大切さを実感しました。人生の中で一度経験するかしないかの、火事。いざという時にうまく作動しないような機器では信用できません。

最後に、「機器の取り扱い説明書は失くさないで下さい。」これは女性達からのお願いです。そうでした。住宅用防災警報器の説明書など、そうそう見るものではないので、どこにしまったのか、そもそもあったのかさえ分からなくなっています。また、自宅の台所には、エアゾール式の簡易消火具を備えておきたいです。これが一つあるだけで心丈夫です。



(エアゾール式簡易消火具)

消防大学校と検定協会の敷地は、銀杏だけでなく、春には桜も見事に咲くそうです。近くには、深大寺そばで有名な深大寺や四季を通じて草木の姿や花の美しさを味わうことができる神代植物公園もあります。春になりましたら、是非一度、足を運んでみようと思います。

今回の取材に協力頂いた検定協会の皆さん、お忙しい中、JABLASの取材のためにお時間を頂きまして、ありがとうございました。心より御礼申し上げます。



# 株式会社ブリヂストン

JABLAS 第13回試験所見学会

日 時： 2015年5月21日(木) 13:00～

会 場： 株式会社ブリヂストン プルービンググラウンド



集合写真(事務所棟前)





## 株式会社ブリヂストン

東京近郊では、前日深夜の季節外れの雷と強風で澁んだ空気が洗い流され、朝から晴れ渡った5月21日(木)、JABLASの第13回試験所見学会が実施されました。今回の会場は、株式会社ブリヂストン様 プルービンググラウンド (Proving=検証する Ground) (以下PG) です。アクセスはJR東北新幹線 那須塩原駅より車で10分ほど。ここでは、試作段階にあるタイヤの性能を評価する様々な実車テストが行われています。

周囲は遙か那須連山を望み、田植えを終えたばかりの田んぼには、若い稲が整然と並んでいます。ふと視線を落とすと、沢山のおたまじゃくしが泳いでいました。

事務所棟の入口の自動ドアを入ると、その両側に陳列されているグリーンと白の、大人用とも言うべき三輪車に目を引かれます。

これは販売促進のアイテムで、その車輪はもちろん車のタイヤです。白の方には普通のタイヤが、グリーンの方にはエコタイヤが使われ、漕ぎ比べることで、エコタイヤの滑らかさを体験できるそうです。どちらを見比べても自転車にしては大きなタイヤが重そうで、人力で漕ぐのは大変そうでした。



正門からの眺め



# 株式会社ブリヂストン



見学会の初めには、(株)ブリヂストン タイヤ研究本部 本部長 坂野 真人 様からご挨拶を頂き、続いて実車試験部 北原 一弥 様によるPGのご説明、次に松本 健 様から、今年の初めに試験所認定を受けました「通過騒音試験」と「ウェットグリップ試験」のご説明がありました。その後、見学用のバスに乗車し、実際のテストコースを走行しました。



## 株式会社ブリヂストン

～ブルーピンググラウンドとは～

PGは、モータリゼーションの発展により、自動車が一般的に普及し始めた1977年に建設されました。当時は、敷地面積40万平方メートル、試験員4名ほどでしたが、その後、タイヤの高性能化や多様化するニーズに応えるため、1989年に、ほぼ現在の形に拡張されました。その敷地面積は76万平方メートル、東京ドームにして16.5個分、試験員は約50名に増えました。それと共に、PGのシンボルである走行の安全を見守るコントロールタワーは、人からモニターへの監視に移り変わりました。

全長3.9Km、バンク角50度の高速周回路や、直径110mのスキッドパッドなど様々な走行条件を想定して作り上げられた各種試験路では、乗用車だけでなく、トラックや二輪車などを対象に、年間13万本、のべ84,000時間に及び実車を使ったテストを行っています。



(株)ブリヂストンPG 正門

実車テストは、天候などの環境条件コントロールの難しさがありますが、訓練されたドライバーが人間の五感を使って行う官能試験と、高度な計測機器を用いた試験を主体に、実際の使用条件に近い形で行われています。

また、北海道のPGでは、スタッドレスタイヤの普及に伴い多様化・高度化する冬用タイヤのテスト、北米、中南米、欧州、アジア、中国にあるPGでは、各市場に即した走行条件での性能テストが行われています。



～「通過騒音試験」と「ウェットグリップ試験」について～

日本やEU(欧州連合)では、タイヤの性能を等級分けし表示するラベリング制度が、数年前より始まっています。この制度は消費者にとって、タイヤを選ぶ際の重要な目安となります。PGでは、そのラベリング試験のうち、「通過騒音試験」と「ウェットグリップ試験」の2つについて、今年のために試験所認定を受けました。

道路の両側にマイクを2本立て、エンジンを切ってその真ん中を通過した時の騒音を測定するのが、「通過騒音試験」です。騒音は、車の走る速度によって変わってきますので、測定の方法は、80km/hと決められています。その計測値は、計測器や路面の状態など様々な要因で変わってきますが、いちばん大きな要因は、人間が制御できない温度や風、湿度などの気象条件です。

「ウェットグリップ試験」では、トラックのお腹に試験用のタイヤを装着し、前のノズルから水を出すことで、路面を強制的にウェットな状態にしながら、トラックと一緒に試験タイヤを転がし、タイヤのグリップ力(摩擦力)の計測をします。路面の状態や温度など様々な基準が、規格によって決められています。





～テストコース見学～

バスに乗り込み、実際にテストコースを走行しました。バンク角最大50度の高速周回路は4車線あり、この日は2車線目の道路を左回りに走行しました。右に傾いたバスの窓一杯に、隣の車線がそびえるように広がり、その上にあるのは、白い雲の浮かぶ青い空だけでした。途中、今まで経験したことがないくらいのがたがたした道を走りました。これはヨーロッパの石畳を再現した道路です。

その後バスを降り、「通過騒音試験」の様子を見学しました。この試験は、車のドライバーとコース内にある小屋の中にいる試験員の二人組で行われます。小屋の中には、計測値が映し出される数台のモニターがあります。互いに連絡を取りながら、ドライバーは2本のマイクが立った道路の真ん中を通過します。この日は風が強く、デモンストレーションによる走行でした。タイヤ2種類の音の大きさを体感するものでしたが、素人には、その差がよくわかりませんでした。

次に「ウェットグリップ試験」を見学しました。お腹にタイヤを抱え、水を撒きながら走るトラックは、もちろん初めて目にするもので、その路面はかなり濡れていました。



## 株式会社ブリヂストン



事務所棟 会議室

途中、ご参加の皆様から活発なご質問も頂くなど、見学会は無事終了しました。

この見学会 実施のためにご尽力頂きました、株式会社ブリヂストンの皆様に改めて御礼申し上げます。また、ご参加頂きました皆様にも心より御礼申し上げます。

JABLASでは、この後も、試験所見学会の実施を予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

JABLAS 志柿 芳江

## 『 試験所賠償責任保険の推奨 』

会員の皆様には、豊かな信頼社会の実現に向けて、日頃よりご努力されていることと存じ上げます。

近年、日本においても企業に対する賠償請求意識が高まってきており「試験・校正・検査等の業務に伴う損害賠償リスク」も例外ではなく増加傾向にあると考えられます。

会員の皆様としては、リスクアセスメントを徹底的に行い、またその適切な備えが重要となっています。

この度はその対策のひとつとして「試験所賠償責任保険」を推奨させていただきます。

本保険は、試験・校正・検査業務の遂行に起因して発生した事故について、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害に備える保険であり、仮に「いいがかり訴訟」が発生した場合であっても対応できる仕組みとなっています。

試験方法の誤りや報告書の記載ミス等で製品の販売中止による回収費用、廃棄費用等の損害賠償金が発生したなど多額の賠償リスクを負う可能性もあり、安心して業務に専念するためにも本保険への加入を是非ご検討ください。

詳細につきましては、JABLAS事務局もしくは下記の保険代理店へお問い合わせ下さい。何卒ご検討の程、宜しくお願い申し上げます。

【取扱い保険代理店】（ご相談費用は一切かかりません）

東洋紡不動産株式会社

東京支店 担当:宮田賢司

〒104-0031 東京都中央区京橋1-17-10

電話番号 03-6887-8565

5月12日(火)・13日(水)

第2回演習型内部監査リーダー養成セミナー(2日)(大阪)

5月20日(水)

書籍出版記念 第4回 ISO 15189:2012(第3版)規格解説セミナー(東京)

5月25日(月)・26日(火)

第3回演習型内部監査リーダー養成セミナー(2日)(東京)

5月29日(金)

出版記念 第5回 ISO 15189:2012(第3版)規格解説セミナー(名古屋)

6月3日(水)

第7回 ISO/IEC 17025規格解説セミナー(東京)

6月9日(火)

食品・理化学試験 バリデーションと不確かさセミナー(東京)

6月17日(水)・18日(木)

第二十七回ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)

<ISO/IEC 17025 (試験・校正)専用講座>(東京)

6月25日(木)・26日(金)

第二十八回ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)

<ISO/IEC 17025 (試験・校正)専用講座>(大阪)

7月2日(木)

不確かさにおける基礎から応用までセミナー(東京)

7月10日(金)

不確かさにおける基礎から応用までセミナー(大阪)

《ICT研究会》

第1回 7月15日(水)

ウェブページ簡易診断、マーケティング戦略とウェブ(半日)

《見学会》

5月21日(木)

JABLAS第13回試験所見学会～(株)ブリヂストンブルービンググラウンド(栃木)

- 2015年6月1日、コーポレートガバナンス・コードが適用となりました。役員に対するコンプライアンスやリスクマネジメントに関するセミナー類はいろいろありますが、社員に対するそれは余りない、という声を頂戴しております。実際のリスクマネジメントでは、取締役に対するものだけでなく、社員そのものの意識及び行動が大きく関与します。JABLASでは過去、リスクマネジメント勉強会を開催し好評をいただきました。そこで社員向けのプログラムとしてリスク研究会を開催致します。
- コーポレートガバナンス・コードには2つの側面があります。アカウンタビリティという側面と成長戦略という側面です。アカウンタビリティは市場に対する説明責任を意味しますが、内部的にはリスクマネジメントそのものといえます。
- リスク研究会の1回目はアカウンタビリティのためのリスクマネジメントとして、「リスク意識」「リスク測定」「リスク行動」の3つについて解説とディスカッションを行います。
- 続いて11月13日の2回目は成長戦略のためのリスクマネジメントとして、「信頼性マーケティング」「リアル・オプション」「リスク・キャピタルの応用」の3つについて解説とディスカッションを行います。

研究会です。皆様、お気軽にご参加ください。

## リスク・マネジメントが組織と人を強くする！



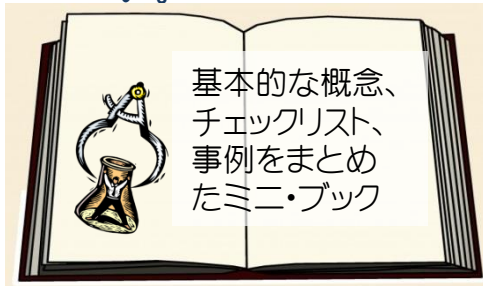


## トータル・リスク・マネジメント

～リスク・マネジメントは全ての社員を対象とします～

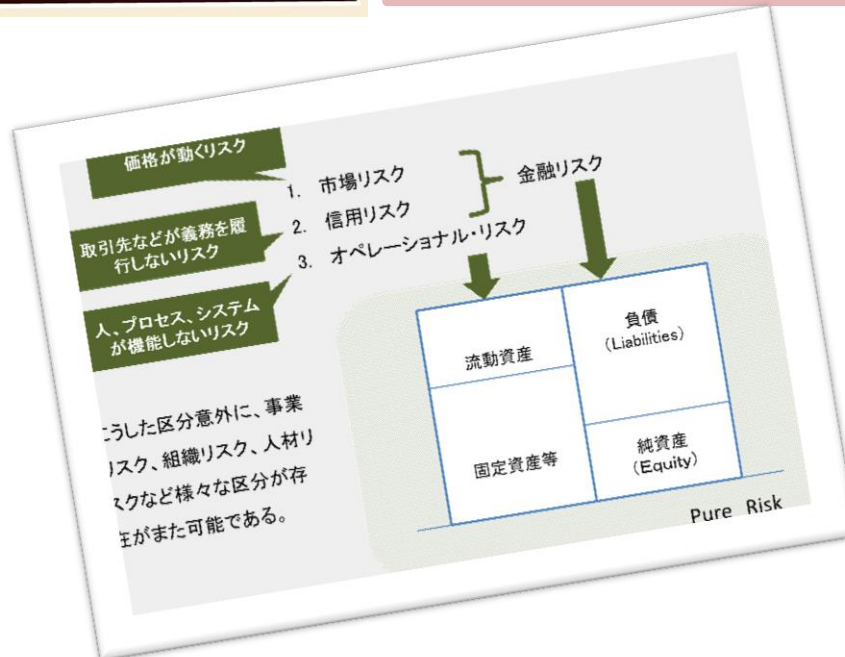
- 社員のリスク・マインドや基本動作を強化/徹底させたい。
- 管理職教育として何かもっと実践的で効果性のあるものが欲しい。

い。



リスク研究会は、リスク・マネジメントの理論や概念、事例やチェックリストの紹介を通じ、貴社の課題に対してディスカッションをする場です。

企業内研修も受けて付けています。



一般社団法人JAB試験所協議会(JABLAS) 2015年度公開セミナー 開催予定表

No.	公開セミナー	受講料 (消費税込)		2015年度											
				2015年									2016年		
				上期						下期					
				会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月

不確かさセミナー

1	不確かさにおける基礎から応用までセミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560				2木								
2	不確かさにおける基礎から応用までセミナー(一日)(大阪)	大阪	¥17,280	¥34,560			10金									
3	これで納得! 2015 GUM 不確かさセミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560						6火						
4	これで納得! 2015 GUM 不確かさセミナー(一日)(大阪)	大阪	¥17,280	¥34,560						13火						
5	測定の技術力向上のための「不確かさ」セミナー(一日)(東京)NEW!	東京	¥17,280	¥34,560							8火					
6	測定の技術力向上のための「不確かさ」セミナー(一日)(名古屋)NEW!	名古屋	¥17,280	¥34,560							15火					
7	第3回楽しく遊び感覚で「不確かさの活用」を発見する。セミナー(講師手作り教材使用)(大阪)	大阪	¥17,280	¥34,560	9木											
8	第4回楽しく遊び感覚で「不確かさの活用」を発見する。セミナー(講師手作り教材使用)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560	16木											
9	第5回楽しく遊び感覚で「不確かさの活用」を発見する。セミナー(講師手作り教材使用)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560						22木						
10	第6回楽しく遊び感覚で「不確かさの活用」を発見する。セミナー(講師手作り教材使用)(名古屋)	名古屋	¥17,280	¥34,560						28水						
11	第4回モンテカルロ法による不確かさの求め方セミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560											4木	
12	第5回モンテカルロ法による不確かさの求め方セミナー(一日)(名古屋)	名古屋	¥17,280	¥34,560											16火	
13	微生物試験 バリデーションと不確かさの求め方セミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560							19木					
14	食品・理化学試験 バリデーションと不確かさセミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560			9火									

No.	公開セミナー	受講料 (消費税込)		2015年度											
				2015年								2016年			
				上期				下期							
				会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月

内部監査員養成セミナー

15	第二十七回ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥34,560	¥69,120				17水 18木									
16	第二十八回ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(大阪)	大阪	¥34,560	¥69,120				25木 26金									
17	第二十九回ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥34,560	¥69,120						2水 3木							
18	第三十回ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥34,560	¥69,120								3木 4金					
19	第三十一回ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(大阪)	大阪	¥34,560	¥69,120										1月 2火			
20	第三十二回ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥34,560	¥69,120												10木 11金	
21	第2回 演習型 内部監査リーダー養成セミナー(二日)(大阪)	大阪	¥34,560	¥69,120			12火 13水										
22	第3回 演習型 内部監査リーダー養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥34,560	¥69,120			25月 26火										
23	第4回 演習型 内部監査リーダー養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥34,560	¥69,120								5木 6金					
24	第2回 食品試験所のための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥34,560	¥69,120					5水 6木								

No.	公開セミナー	受講料 (消費税込)		2015年度											
				2015年						2016年					
				上期						下期					
				会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月

規格解説セミナー

25	第6回 ISO/IEC 17025 規格解説セミナー(一日)(大阪)	大阪	¥17,280	¥34,560	10金												
26	第7回 ISO/IEC 17025 規格解説セミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560			3水										
27	第8回 ISO/IEC 17025 規格解説セミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560									26火				
28	第4回 書籍出版記念 ISO 15189:2012(第3版)規格解説セミナー(一日)(東京)	東京	¥17,280	¥34,560		20水											
29	第5回 書籍出版記念 ISO 15189:2012(第3版)規格解説セミナー(一日)(名古屋)	名古屋	¥17,280	¥34,560		29金											
30	ISO 9001:2015 規格解説セミナー／品質を高める測定とは(一日)(東京)NEW!	東京	¥17,280	¥34,560								18水					
31	ISO 9001:2015 規格解説セミナー／品質を高める測定とは(一日)(名古屋)NEW!	名古屋	¥17,280	¥34,560								25水					
32	第3回 臨床検査室 易しい不確かさセミナー ―なぜ 不確かさを推定するのか―	東京	¥17,280	¥34,560									1火				

試験技術・経営者向けセミナー

33	第3回 マイクロピペットによる精度管理セミナー	神奈川	¥21,600	¥43,200							11金						
34	第4回 マイクロピペットによる精度管理セミナー	神奈川	¥21,600	¥43,200								13金					
35	第5回 マイクロピペットによる精度管理セミナー	神奈川	¥21,600	¥43,200													
36	ISOは国際経営戦略の基盤(一日)(東京)NEW!	東京	¥21,600	¥43,200	22水												
37	ISOは国際経営戦略の基盤(一日)(名古屋)NEW!	名古屋	¥21,600	¥43,200								29木					

No.	研究会／勉強会	参加費用 (消費税込)	2015年度												2016年				
			2015年						2016年										
			上期						下期										
			会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	臨床検査室 ISO 15189:2012 版 実践に役立つ勉強会(午後・半日)(東京)	東京	¥10,800	¥21,600															
2	臨床検査室 ISO 15189:2012 版 実践に役立つ勉強会(午後・半日)(名古屋)	名古屋	¥10,800	¥21,600															
	CHO(チーフ・ホームページ「HP」・オフィサー)育成プログラム																		
3	① ウェブページ簡易診断、マーケティング戦略とウェブ(午後・半日)(名古屋)	名古屋	¥21,600	¥43,200				15 水											
4	② 他社事例にみるWebマーケティング(午後・半日)(名古屋)	名古屋	¥21,600	¥43,200				26 水											
5	③ Google AdWordsとGoogle Analytics(午後・半日)(名古屋)	名古屋	¥21,600	¥43,200					16 水										
6	④ サービス化、経験経済から見るマーケティング戦略とウェブ(午後・半日)(名古屋)	名古屋	¥21,600	¥43,200						23 金									
7	⑤ Web戦略の具体的構築(手順と手法とアイデア)(午後・半日)(名古屋)	名古屋	¥21,600	¥43,200							10 火								



No.	研究会／勉強会	参加費用 (消費税込)	2015年度														
			2015年									2016年					
			上期						下期								
			会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
8	リスク研究会	①トータル・リスクマネジメント (午後・半日)(東京)	東京	¥10,800	¥21,600								15 木				
9		②成長戦略のためのリスクマネジメント(午後・半日)(東京)	東京	¥10,800	¥21,600								13 金				
10	コスト研究会	①ケースで学ぶコストの原理・原則とコスト戦略 コスト意識が業績を支える！(午後・半日)(東京)	東京	¥10,800	¥21,600								16 水				
11		②徹底ワークシート！ 実践コストダウン/要員設定(午後・半日)(東京)	東京	¥10,800	¥21,600									21 木			
12	見学会	2015年5月21日(木)13:30～ JABLAS第13回試験所見学会 株式会社ブリヂストン様 プルービンググラウンド 実車試験部	栃木	¥0	¥10,800		21 木										
13		2015年9月29日(火)13:30～ JABLAS第14回試験所見学会 日本消防検定協会様	調布	¥0	¥10,800					29 火							

会場について 東京：公益財団法人日本適合性認定協会(JAB)会議室

名古屋：愛知県産業労働センター(ウインクあいち)

# JABは安心・快適な暮らしを支えます。

企業等が生み出す製品、サービス、試験、および検査をルール(規格や基準)に基づき評価することを「適合性評価」と呼びます。「適合性評価」は、グローバルな現在の社会において、私達が快適な社会生活を支えるために役立っています。



JABは日本で唯一の  
総合認定機関です。

JABは適合性評価全般にかかわる業務実務能力を認定する民間の認定機関です。(JAB認定対象)ISO 9001,14001をはじめとするマネジメントシステム 認証機関、委員認証機関、製品認証機関、温室効果ガス 安全性評価・検証機関、試験所、校正機関、臨床検査室、検査機関、標準物質提供者、技能試験提供者

公益財団法人  
**日本適合性認定協会**  
Japan Accreditation Board

〒141-0022東京都品川区東五反田1-22-1 五反田ANビル3階  
TEL 03-3442-1210 FAX 03-5475-2780  
<http://www.jab.or.jp>

JABLAS NEWSでは会員の方々からの原稿をお待ち申し上げます。

★JABLASウェブページへの相互リンクを募集しております。

(ご要望にお応えできない場合もあります。)

編集・デザイン制作/ MITL 宮川雅明  
敬称はすべて略させていただきました。

JABLAS NEWSの著作権者は一般社団法人JAB試験所協議会に属します。  
無断で複製、転載を禁じます。

発行 JABLAS(一般社団法人JAB試験所協議会)  
〒141-0022  
東京都品川区東五反田1-22-1五反田ANビル3F  
電話/03-5798-8820 Fax/03-5798-8821  
e-mail [info@jablas.jp](mailto:info@jablas.jp) URL/ <http://jablas.jp>